

2017年3月13日

各位

積水ハウス株式会社

日本初 分割可能なロボット式防蟻再施工システム「スプロボ」 賃貸集合住宅の床下防蟻処理工事を受注開始

積水ハウスグループ(積水ハウス株式会社 本社:大阪市北区 社長:阿部 俊則)は、株式会社
コシイプレザービング(本社:大阪市住之江区、社長:神谷 直秀)の協力の下、日本初となるユニット
分割可能なロボット式防蟻再施工システム「スプロボ」による賃貸集合住宅の床下防蟻処理工事の
受注を、3月16日(木)より開始します。



建物外から床下の施工ロボットを遠隔操作して防蟻処理の薬剤を散布

建物に被害を与えるシロアリへの対策は、侵入経路となる床下に防蟻処理を行います。薬剤の
防蟻効果の持続期間の目安である10年ごとの防蟻再施工が望ましいとされています。また、従来の
床下防蟻処理は、室内の床下点検口から作業者が床下に入り、施工しますが、賃貸集合住宅の場
合は、1階各戸の室内の点検口から入るために各入居者の立ち合いなどが必要でした。

ロボット式防蟻再施工システム「スプロボ」は、建物外部の基礎にある床下換気口から施工ロボッ
トを入れ、建物外から施工ロボットのカメラの映像をモニターで確認しながら遠隔操作して防蟻処理
を行います。例えば、2LDK、6戸の2階建て賃貸集合住宅(1階面積200㎡)であれば、1日で防蟻処
理の施工ができます。さらに施工ロボットは4分割できるため、床下換気口が狭い場合にも分割挿入
して組立てが可能です。

建物外から遠隔で、より安全で確実に作業性も高めて施工することができ、作業者が各戸の室内
や床下に入る必要がないため、入居者様やオーナー様のご負担を軽減しながら、従来と比べて約1
割のコストダウンを実現するなど、顧客満足度向上にもつながります。

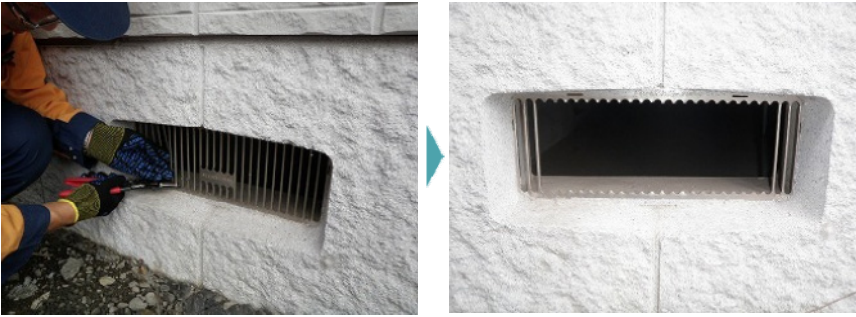
当面は施工ロボット50台を導入して、積水ハウスリフォーム東日本株式会社、積水ハウスリフォー
ム中日本株式会社、積水ハウスリフォーム西日本株式会社の3社から受注を開始して、積水ハウス
グループで他にリフォーム事業を担う積和不動産各社、積和建设各社にも順次拡大していきます。

積水ハウスグループは、ロボット式防蟻再施工システム「スプロボ」の導入により、負担の少ないメ
ンテナンスを定期的の実施することでオーナー様の建物の資産価値維持と長寿命化を目指します。

※「スプロボ」は積水ハウス株式会社の商標(出願中)です。

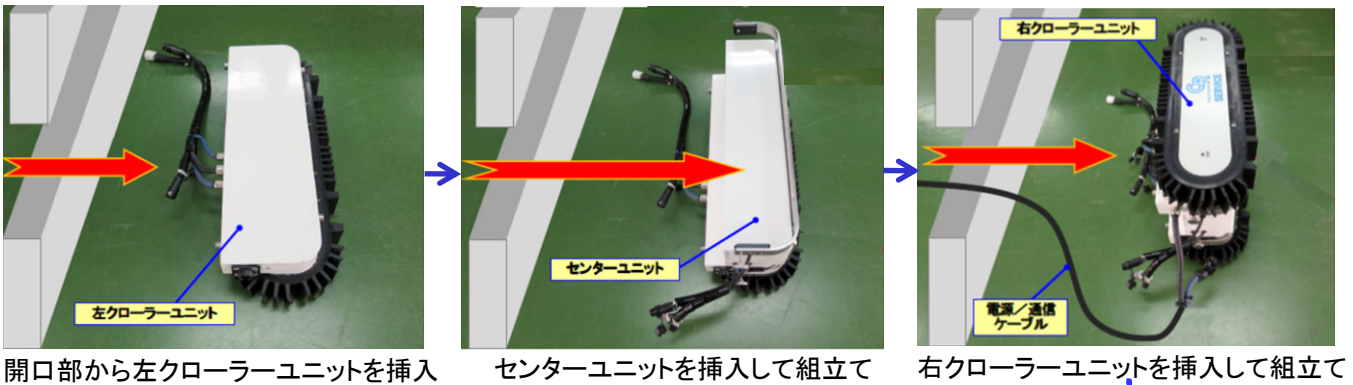
■施工手順

①基礎の床下換気口をカットして開口



②開口部のサイズに合わせて、施工ロボットを床下に分割挿入して組立て

(開口部が狭い場合は、施工ロボット本体を4分割して挿入可能)



開口部から左クローラーユニットを挿入

センターユニットを挿入して組立て

右クローラーユニットを挿入して組立て

(天板ユニットのみを分割する場合)



開口部から施工ロボットを挿入

天板ユニット(ノズル部分など)を挿入

天板ユニットを固定して完成

③コントローラーとPCモニターで建物の外から遠隔で施工



モニターのガイドラインで散布範囲が確認でき、工事記録写真も撮影可能



建物外から施工ロボットを遠隔操作し、床下状況を確認しながら施工



段差も乗り越えることが可能